国連FAOの取り組み

中東・北アフリカ事務所プログラム担当官 国連食糧農業機関(FAO 金野憲哉

地域事務所を経て一六年七月より現職。 後退職し、一〇年 FAOへ。 アジア・太平洋 編成、農山漁村活性化政策などを担当した 政策立案、マンゴーの輸送問題の解決、予算 省。米政策、品質表示、沖縄の農林水産業 けんや 二〇〇〇年農林水産省入

こんの

-ツの実を前に生産者と談笑する筆者

きに耐えてきた旅人たちは、こんな時どれだけほっとした 方にナツメヤシの木が生い茂るオアシスが見えてきた。 ダたちのみ。朝からどこまでも続くこの風景に気が遠く 泉に心が安らぐ。ラクダの背に何週間も揺られ、飢えや渇 しぶりに目にする木々の瑞々しい緑、こんこんと湧き出す なってくる。いよいよ西日が砂を茜色に染める頃、遥か彼 にわずかに生える草と、ときおり遠くに見える野生のラク はてしなく続く地平線に砂埃が舞う。 目に入るのは路肩

ことだろうか、と悠久の昔に思いを馳せる。

羊飼いの少年が宝物を探しに広大な砂漠への旅に出る話

適度に乾燥すると保存が効くことから、気候の厳しいこの カ・中東のいたるところに生い茂っている。栄養価が高く、 センチの果物がたわわに実る背の高いこの木は、北アフリ よりナツメヤシ(デーツ)の一大産地である。 西に約八○○キロ離れたリビア国境近くの街シーワ。 舞台を彷彿とさせるこの地は、エジプトの首都カイロから を描いたパウロ・コエリーリョの名著『アルケミスト』 日本人にはあまり馴染みがないデーツだが、長さ三~五

ダン 地域で昔から愛されてきた。イスラム教徒の間では、 言者ムハンマドに勧められた食物とされている。 (断食月)の日没後に最初に口にいれるとよい、と預 ラマ

産の間には平均で三倍、時に一○倍以上の開きがある。し 国内向けである。最終販売価格はエジプト産とチュニジア 持ち、その製品は一箱何十ドルという値段で売られている。 ン、パリ、ニューヨークなど世界各地の主要都市に支店を えられて店頭に並んでいる。このデーツ専門店は、ロンド ナッツをサンドしたデーツが宝石箱のように美しくあつら デーツ専門店では、ピスタチオやクルミなどのさまざまな の気の利いたおやつという感じだ。首都チュニスの高級 める。まさに、アールグレイの紅茶がぴったりくる、午後 り、上品な甘さと豊かな風味、そして感動的な後味を楽し 細長い形の果実は、とろりとして半透明の茶色を帯びて光 アのデーツ(品種:デグラ・ノワール)には驚かされた。 間にさまざまなデーツを口にしたが、中でも隣国チュニジ 色、味に違いがある。私もエジプトに赴任してから四年の かし、エジプトはデーツの生産量年間約一五〇万トン。実 い甘味で、甘党のエジプト人向けだ。実際、生産の九割は 片やエジプト。主力品種は黒くねっとりとして非常に強 ひとくちにデーツと言っても産地や品種によって形や

に世界一の生産量を誇り、ポテンシャルは計り知れない。

ファーマー・フィールド・スクール

歩一歩の積み重ねが必要だ。そこで、FAOエジプト事務 をターゲットとする。 を実施している。このプロジェクトは、生産・流通の両面 所では、一七年よりシーワを含む主要産地でプロジェクト のデーツを世界ブランドに育てていくためには、地道な一 の高付加価値化にただちに繋がるわけではない。エジプト 気温四○度にも達する灼熱の地。認定が、シーワのデーツ 認定している。ただ、シーワはその遠距離に加えて、夏は 農業と位置づけ、二〇一六年に「世界農業遺産」の一つに ワのデーツ生産を将来に渡って保全されるべき重要な伝統 展と農村開発に取り組む国連の専門機関であり、このシー 国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農林水産業の発

ネットで覆うトレーニングを実施した。最初は今まで以上 二〇%も収量が向上したのである。このやり方はたちまち あった農家たちも、その後の収量の違いを見て納得。 に手間がかかることから、この手法の導入に半信半疑で 域の農家を集め、専門家を招きデーツの枝を束ねて、防虫 まず生産面では、害虫被害に悩むデーツ農家の農園に地



デーツの枝を束ねて防虫ネットをかけることで、収穫量 が格段に増えた (筆者提供)

は、工場における乾燥、

梱包などの工程があり、

写真に彩られたパンフレットを開き、商品一つ一つの値段が彼の目の前で、チュニスの高級デーツ専門店の魅力的なまた、チュニジアの品種も試験的に栽培を始めている。私甘味を抑えた製品を試験的に作り、低温保存庫も導入した。

を語ると驚き、そして生き生きと目を輝かせた。

ルというFAOが得意とする手法である。は一見にしかず」。これがファーマー・フィールド・スクー産地の大多数の農家がこの方式を取り入れている。「百聞農家の間で広まり、今やシーワを含めプロジェクトの対象

めている。まず、従来の品種のデーツをやや早く収穫し、○一九年六月の訪問では、シーワ最大のデーツ農家を訪ニ○一九年六月の訪問では、シーワ最大のデーツ農家を訪ニの豊家はFAOの研修を受け、いかにエジプトのれた。この農家はFAOの研修を受け、いかにエジプトのれた。この農家はFAOの研修を実施している。次に流通面では、マーケティング研修を実施している。

出荷されないマンゴーの山を見て

産業化によるさらなる雇用創出効果も期待されている。

る。 は、 熟マンゴーのとろけるような南国の甘い香りと、絹のよう み上げられた段ボール箱の中で何日も飛行機に乗せられ に空輸キャパシティーの不足により、空港にうずたかく積 は、最高級の贈り物として日本中の消費者を笑顔にしてい のマンゴー農家で過ごした私は、そこで初めて出会った完 に遡る。新入省員の研修生として一カ月間を沖縄県石垣島 ると聞いたときは、 な舌ざわりに衝撃を受けた。台風の多い石垣島のマンゴー 私の地域農業との関わりは、 それだけに、そのマンゴーが、観光のピークシーズン 大変な手間暇をかけて育てられ、 高温で腐ってい 憤慨した。 く――その損害は毎年二億円にものぼ 前職の農林水産省勤務時代 お中元のシーズンに

ブランド

作物で、高鮮度と香りが命。
で物で、高鮮度と香りが命。
でく。マンゴーは真夏の沖縄のシンボルであり、旬を売る面、地域においてその重要性が認知されていないことに気島のマンゴーが観光の大きな魅力の一つとなっている反 翌年、沖縄総合事務局農林水産部に赴任した私は、石垣

話し合いの結果、観光ピークシーズンの限られた空輸キャ 議論する対策会議が立ち上がった。関係者による精力的な を上げ、初めてマンゴー生産者と一堂に会してこの問題を 要請がテレビ放映されるに至って、関係者がついに重い腰 脚光を浴び、石垣市長から県知事への直接面会による解決 らい、その重要性を数字で証明するとともに、新聞社やテ 縄県観光振興局の協力を得て、観光客アンケートに南国フ 協力を求めたが、なかなか埒があかない。そこで私は、 泡盛生産組合、農協などに直接足を運び、個別に解決への うことにした。すると、石垣島のマンゴーの輸送の問題が ルーツおよびマンゴーに関する質問を新たに盛り込んでも ていた。手始めに県農林水産部、郵便局、航空各社、船会社 レビ局などのメディアにも積極的にこの問題を扱ってもら プルなど必ずしも空輸が必須でない産品と競合しひっ迫し マンゴーの空輸キャパシティーは、泡盛、野菜、パイナッ しかし、調べてみると、最盛期においても、石垣空港の 沖

島のマンゴーの輸送状況は飛躍的に向上した。ては海上輸送を活用するなどの地元の調整がなされ、石垣パシティーの有効活用のため、緊急を要しない産品につい

問題は現場が一番よくわかっているし、解決策に飢えてての私の持論である。